

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【公表番号】特表 2002-505455 (P2002-505455A)  
 【公表日】平成 14 年 2 月 19 日 (2002.2.19)  
 【出願番号】特願 2000-527905 (P2000-527905)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F 15/02 (2006.01)**

**G 0 6 F 3/048 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 15/02 3 5 5 A

G 0 6 F 3/00 6 5 1 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 1 月 10 日 (2006.1.10)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 計算デバイスにおいてディスプレイ・スクリーン上にイベントの予定を表す標識を表示する方法であって、

イベントの開始時刻および当該イベントの時間を示すイベント情報を得るステップと、  
 カレンダ表示を与えるステップであって、該カレンダ表示が、複数の日を含むカレンダ月を表す月間を備え、各日が所望の時間期間の対応する時計面板表示を含み、該時計面板表示が前記イベントの開始時刻および時間を示すユーザ観察可能部分を含むステップとから成る方法。

【請求項 2】 カレンダ表示を与えるステップが、  
 前記時計面板表示を与え、前記ユーザ観察可能指標が、前記時計面板表示上に、前記開始時刻および時間を示す視覚的強調部分を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 前記カレンダ表示を与えるステップが、  
 前記時計面板表示上に位置する時計区間として、前記視覚的強調部分を与え、前記開始時刻および時間を示すステップを含むことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】 前記カレンダ表示を与えるステップが、  
 前記時計面板表示を、複数の時計面板表示として与えるステップを含み、前記複数の時計面板表示の各々が、前記時計面板表示が対応する日の異なる時間期間に対応することを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】 前記カレンダ表示を与えるステップが、  
 前記複数の時計面板表示の各々が対応する時間期間の視覚指示を、前記複数の時計面板表示に与えるステップを含むことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】 前記カレンダ表示を与えるステップが、  
 午前の時間期間に対応する、前記複数の内第 1 時計面板表示と、午後の時間期間に対応する、前記複数の内第 2 時計面板表示とを与えるステップを含むことを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】 前記カレンダ表示を与えるステップが、  
 前記第 1 時計面板表示が午前の時間期間に対応することを示すテキスト午前インディケータを前記複数の内前記第 1 時計面板表示に与えるステップと、  
 前記第 2 時計面板表示が午後の時間期間に対応することを示すテキスト午後インディケ

ータを前記複数の内前記第 2 時計面板表示に与えるステップとを含むことを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】 前記カレンダー表示を与えるステップが、前記第 1 および第 2 時計面板表示を別個の視覚表示として与えるステップを含むことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】 前記カレンダー表示を与えるステップが、前記第 1 および第 2 時計面板表示の一方を、前記第 1 および第 2 時計面板表示の他方の上に重ね合わせるステップを含むことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】 前記カレンダー表示を与えるステップが、24 時間の時間期間を表す単一の時計面板として、前記時計面板表示を与えるステップを含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 11】 前記カレンダー表示を与えるステップが、前記月間ビューに複数の日を設けるステップを含み、各日が、視認中の月の日であることを示す数値インディケータを含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 12】 前記カレンダー表示を与えるステップが、前記月間ビューに複数の日を設けるステップを含み、各日が、前記時計面板表示上に反映されないイベントを示す、ユーザ選択可能インディケータを含むことを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】 前記カレンダー表示を与えるステップが、所望の時間増分幅のみで開始時刻および時間を示す、前記ユーザ観察可能部分を与えるステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】 計算デバイスのディスプレイ・スクリーン上にイベントの予定を表す標識を表示する方法であって、イベントの開始時刻と当該イベントの時間とを示すイベント情報を得るステップと、前記イベント情報に基づいてカレンダー表示を与えるステップであって、前記カレンダー表示が、複数の日を表すビューを備え、各日が所望の時間期間の対応する時計面板表示を含み、前記時計面板表示が前記イベントの前記開始時刻および前記時間を示す視覚的強調部分を含むステップとから成る方法。

【請求項 15】 前記カレンダー表示を与えるステップが、前記視覚的強調部分を、前記時計面板表示上に位置するクロック区間として与え、前記クロック区間を所望の最小時間区間として与えるステップを含むことを特徴とする請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】 計算デバイスのディスプレイ・スクリーン上にイベントの標識を前記計算デバイスに表示させる、コンピュータ読取可能な命令を格納したコンピュータ読取可能な媒体であって、前記コンピュータ読取可能な命令により、イベントが行われる日を示す視覚指示と、前記イベントが行われる時刻を示すユーザ観察可能表示器を有するアナログ時計面板表示とを含むイベント表示を与えるステップを前記計算デバイスに実行させるコンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 17】 前記コンピュータ読取可能な命令により、前記イベントの開始時刻および前記イベントの時間を示すイベント入力情報を受け取るステップと、前記イベント入力情報を格納するステップとを前記計算デバイスにさらに実行させることを特徴とする請求項 16 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 18】 前記コンピュータ読取可能な媒体をモバイル・デバイスと共に使用するように構成したことを特徴とする請求項 16 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 19】 計算デバイスにおいてディスプレイ・スクリーン上にイベントの予定を表す標識を表示する方法であって、

複数の異なるタイプのイベント、ならびに各イベントの開始時刻および各イベントの時間を示すイベント情報を得るステップと、

複数の日を含むカレンダー月を表す月間ビューを備えたカレンダー表示を与えるステップであって、各日が所望の時間期間を表す対応の時計面板表示を含み、該時計面板表示が、各イベントの開始時刻および時間を示すユーザ観察可能部分を含み、前記ユーザ観察可能部分を満たして前記異なるタイプのイベントの各々を所定の順序で示すステップとから成る方法。

【請求項 20】 カレンダー表示を与えるステップが、前記時計面板表示を与えるステップを含み、前記ユーザ観察可能標識が、各イベントの前記開始時刻および時間を示す視覚的強調部分を前記時計面板表示上に含むことを特徴とする請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】 計算デバイスにおいてディスプレイ・スクリーン上に予定したイベントを示すデータを表示する方法であって、前記予定したイベントが、複数の異なるイベント・タイプの 1 つであり、

前記予定したイベントを示すイベント情報を得るステップと、

複数の日を示す表示を与えるステップと、

前記イベント・タイプに基づいて、所定の順序で前記予定したイベントの各々を示す視覚標識を表示することによって、前記表示を満たすステップとから成る方法。

【請求項 22】 前記イベント・タイプは、繰り返す約束および繰り返さない約束を含み、前記表示を満たすステップが、

最初に前記イベント・タイプの第 1 イベント・タイプを示す視覚標識で前記表示を満たし、次に前記イベント・タイプの第 2 イベント・タイプを示す視覚標識で前記表示を満たすステップを含むことを特徴とする請求項 21 に記載の方法。

【請求項 23】 前記表示を満たすステップが、

前記複数の日の各々に対応する時計表示を与え、前記予定したイベントの開始時刻に基づいて、前記時計面板表示の部分を満たすステップを含むことを特徴とする請求項 22 に記載の方法。

【請求項 24】 前記イベント・タイプが警告を含むことを特徴とする請求項 21 に記載の方法。

【請求項 25】 前記表示を満たすステップが、

予定したイベント全てを表示するまで、第 1 タイプの視覚標識で前記表示を満たすステップと、

前記予定したイベントの全てを表示した後、前記第 1 タイプの視覚標識を変更するステップと

を含むことを特徴とする請求項 22 に記載の方法。

【請求項 26】 第 1 タイプの視覚標識で前記表示を満たすステップが、

陰影標識または網掛標識の一方で前記表示を満たすステップを含み、前記第 1 タイプの視覚標識を変更するステップは、前記第 1 タイプの視覚標識をベタ塗標識に変更するステップを含むことを特徴とする請求項 22 に記載の方法。

【請求項 27】 前記表示を満たすステップが、

第 1 イベント・タイプの予定したイベントを示す第 1 カラーの視覚標識で前記表示を満たすステップと、

第 2 イベント・タイプのイベントを示す、前記第 1 カラーとは異なる第 2 カラーの視覚標識で前記表示を満たすステップと

を含むことを特徴とする請求項 25 に記載の方法。

【請求項 28】 前記表示を満たすステップが、

第 1 イベント・タイプのイベントを示す第 1 視覚標識で前記表示を満たすステップと、所定時間期間だけ待つステップと、

次いで、第 2 イベント・タイプのイベントを示す第 2 視覚標識で前記表示を満たすステ

ップと

を含むことを特徴とする請求項 25 に記載の方法。

【請求項 29】 第 2 視覚標識で前記表示を満たした後、第 2 所定時間期間だけ待つステップと、

次いで、第 3 イベント・タイプのイベントを示す第 3 視覚標識で前記表示を満たすステップと

をさらに含むことを特徴とする請求項 28 に記載の方法。

【請求項 30】 計算デバイスのディスプレイ・スクリーン上においてイベントのカレンダを表示する方法であって、

複数の日のカレンダ表現を表示するステップと、

前記カレンダ表現を、前記複数の日に予定したイベントを示すイベント標識で満たし、該イベント標識が、前記カレンダ表現を満たすステップが完了したか否かに関する指示も与えるようにするステップと

から成る方法。

【請求項 31】 前記イベントが複数のイベント・タイプの 1 つに対応し、前記カレンダ表現を満たすステップが、

最初に第 1 イベント・タイプのイベントを示すイベント標識で前記カレンダ表現を満たすステップと、

次いで第 2 イベント・タイプのイベントを示すイベント標識で前記カレンダ表現を満たすステップと

を含むことを特徴とする請求項 30 に記載の方法。

【請求項 32】 前記カレンダ表現を表示するステップが、少なくとも 1 つの時計面板表示を表示するステップを含み、前記カレンダ表現を満たすステップが、

前記時計面板表示上のクロック区間を満たすステップを含むことを特徴とする請求項 30 に記載の方法。